

脱炭素事業に関する村民説明会【草尾区】開催要旨

日時	令和6年2月13日（火）午後6時30分～午後8時00分
場所	草尾交流センター
参加者	14名（村民12名、議員2名）

【質問者】

能登半島の地震がありました。こういった災害時、株式会社いくさかてらす（以下「いくさかてらす」という。）が全ての施設の保守管理、維持管理をすることになるが出来ますか。大規模災害の際、対応出来ますか。

【村づくり推進室長】

耐震対策について、ご意見をいただいています。太陽光パネルの設置に関しては有事の場合はいくさかてらすの加入する保険で対応を行う予定です。

【質問者】

マイクログリッドなど敷設するが、大災害時には対応できるのでしょうか。復旧には相当なお金がかかるのではないのでしょうか。その場合の保険など、検討しているのでしょうか。

【エコロミ】

配電線に対する保険などは通常、中部電力が入っています。いくさかてらすだけでは当然やりきれないです。災害時には近隣から応援が必要です。その体制をこれから組んでいきます。保険会社とも協議を進めています。保険会社と一緒に仕組みを作っていくかねばいけません。不安がないように、健全な会社運営ができるよう仕組みを作っていきます。

【質問者】

省エネ機器の導入補助についてです。利用したいと思っておりますが対応機種など、知りたいです。地域の業者などにメリットがある形で進められるのですね。

【村づくり推進室長】

対象製品についてなど、商品紹介を行う予定です。（事務局・推進室等）村内の事業者にも参加いただく予定である。業者を通してお示しします。

【質問者】

野立ての太陽光パネルの管理についてです。いくさかてらすが草刈りや、雪下ろしなど対応出来ますか。大好き隊に依頼するなど噂を聞きましたが事実ですか。

【村づくり推進室長】

いくさかてらすが設置を進めるため、いくさかてらすが管理を行なっていきます。地域や大好き隊で対応するなどは、現在予定していません。

【質問者】

1月ころに新聞かなにかで、木質バイオマスと小水力発電は無くなったと読みましたが、今日のパンフレットにはそのように書いていませんが状況を教えてください。また、事務局にきてくださいということでお邪魔して質問しましたが、「村長に確認します。」という対応でした。その場で返答なり資料を見せてくれるなりで対応してほしいです。

【村づくり推進室長】

広報面でどのように伝わってしまっているか分からないですが、小水力、木質バイオマスともに無くなったということはありません。事務局の対応ですが、問い合わせ内容は全て連絡が入っています。その場で答えられるものは、もちろんその場で答えられますが、まだ詳細が決まっていないものが多いですので、答えられる段階になりましたらまとめてお示ししたいと考えています。

【質問者】

あくまで噂ですが、山仕事創造舎さんが撤退したという話がありました。その関係で木質バイオマス事業が無くなったのではないですか。

【村づくり推進室長】

いくさかてらすへの出資に関しては先方から様子を見て判断するとの返答をいただいております。木質バイオマス事業に関しては、山林の整備ということも含めてどのように計画していくかというところで今も調査などの面で参加して頂いております。なので、撤退したということはありませんので共同提案者として関わっていただいております。

【質問者】

古民家リノベーション事業についてです。古民家の定義を教えてください。

【エコロミ】

提案書の時点では茅葺屋根の家、元養蚕農家の家を想定していました。令和7年度から実施していくリノベーションに関しましては、令和6年度の設計の中で一般民家も対象に考えていきたいと思っています。

【質問者】

私の住んでいる袖山地区はパネル設置する場所の対象になるところが少ないと思う。その状態で自分には関係ないことだと思っている人もいると思います。いくさかてらすと契約するべきかどうか考えています。

【村づくり推進室長】

民家の屋根だけでなく、車庫への設置も検討しています。どうしても設置が難しいという場合には設置しなくても契約することができます。場合によっては野立て、区外から電気を供給することもできます。供給する敷地をお借りしている以上、設置できない方への電気料、

値段は若干変わってくるかと思いますが、それでも1割程度は現状より安く提供できると考えています。加えて、蓄電池だけの設置ということも対応していきたいと考えています。電気料金については6月にお示しします。

【質問者】

太陽光パネルの屋根診断を昨年秋にしてもらったが、屋根に載せられるかどうか詳しい説明がありませんでした。今後はどのような時期に内容の提案をもらえますか。

【平林建設】

昨年12月ごろから調査にまわらせていただいております。150軒程度まわらせていただきました。6月に料金含めた契約内容が出るとお思いますので、その中で契約者の方に再度提案させていただきます。

【質問者】

以前、単身高齢者は屋根に太陽光パネルを付けられないと聞いたが変わっていませんか。

【平林建設】

高齢者の方でも自分をつけたいという要望があれば大丈夫です。各家庭の意思によって判断していただきたいです。

【質問者】

各家庭に配置する蓄電池の容量はどれくらいのものを想定していますか。

【平林建設】

40アンペアで16kwとか。30時間以上持つとか。そのくらいの大きさのものを設置予定です。

【エコロミ】

太陽光と蓄電池の両方設置してある場合だと昼は太陽光の電気を使い、夜は蓄電池の電気を使いますので大体3日程度は使用できると思います。

【質問者】

少し補強すればパネルを設置できるという場合に、耐震補強などいくさかてらすから補助はできますか？

【牛越副村長】

昭和57年以前の建物に関しては、まずは耐震診断を受けていただきたいです。そのうえで耐震補強の補助金が上限100万円すでにありますのでそれを活用していただきたいです。今後、150万円に増額されるという話もあります。

【質問者】

例えば屋根に設置した後に老人ホームに入ったりなどして、その家が無人になってしまった場合、太陽光パネルは稼働し続けるのでしょうか。

【エコロミ】

家のブレーカーと連動しておりますので、基本的には稼働しないということになります。

【質問者】

例えばですが、パネルを4枚設置したいという場合に屋根に2枚、倉庫に2枚など分散して設置することはできますか。

【村づくり推進室長】

なるべくご要望に沿ったかたちで実施していきたいと思っています。今回、環境省の補助事業ですので、そのやり方が補助対象内になるか確認していかなければいけません。補助に適合するか時間をかけて確認してお示しいたします。

【質問者】

生坂村は人口がどんどん減ってきています。今回の事業で雇用の創出についての対策についても書いてありました。どのようにして雇用の創出や人口増加に取り組んでいきますか。

【村づくり推進室長】

シルバー人材の雇用も考えています。今回例えばですが、野立ての草刈りに人が必要です。また、木質バイオマスのところではペレットストーブも導入しますので、薪やペレットの販売に関わる人や山林課題の解決に取り組むにあたってそれに携わる人が必要だと思っています。